

### ③ 菊づくりの喜びと苦勞

#### 菊づくりのおじさんの話

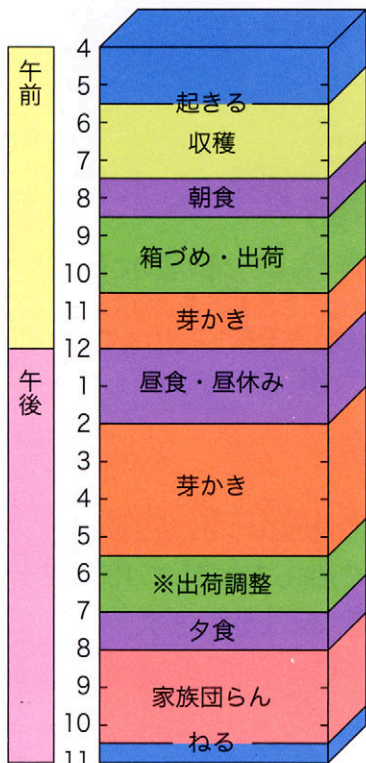


りっぱな菊を育てるには、病気や虫がつかないように消毒を週に1回くらい行います。また土づくりも欠かせません。化学肥料ばかりでなく、もみがらかかくたい肥ひを使って菊が生長しやすい土地になるように気をつけています。菊は「仏の花」と言われ、お盆ほんやお彼岸ひがんのわずか3日間に使うことができるように咲いてくれると高い値段で売れます。会津本郷町だけでも、100種類の菊を栽培しており、切れ目なく咲かせるために、品種によって咲く時期をずらして生産しています。いちばん気をつけているのは、ひょうや台風による被害ひがいです。被害の大きさによっては、その年の菊の生産にも大きなえいきょうをおよぼします。

#### 菊づくりのおばさんの話



芽かきの仕事が一番大へんです。一日中、朝から晩まで一本一本芽かきをします。立ったままの仕事ですし、ビニールハウスの中はとても暑くてつらいことも多いです。菊づくりの仕事が忙しいので家の仕事はおばあちゃんに手伝ってもらっています。家族の協力なしではできませんね。心をこめて育てた菊が、大きな花を咲かせてくれた時は、今までの苦勞やつらかったことがいっきにふき飛んでしまいます。



<菊づくり農家の一日>

※花を10本ずつ束たばねて予冷庫に入れる作業